

【様式2】

平成26年(2014年)2月14日

日本語学習支援における地域の連携状況等に関するアンケートのお願い

県では、外国籍県民等の自立支援と社会参加促進を目的とし、地域における日本語学習の支援体制を整備していくことを予定しています。その一環として、より効果的な日本語学習支援が行われるために、行政、教育委員会及びボランティア日本語教室の協働のあり方を検討することとなりました。

つきましては、ボランティア日本語教室の現在の運営状況及び他機関との連携状況を把握するため、アンケート調査を実施いたします。この調査は、ボランティアグループ、国際交流協会、NPO法人等が主催の日本語教室にご協力をお願いしています。また、調査結果は、県が行う日本語学習支援施策の参考資料として使用いたします。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力をいただきますようお願いいたします。

■回答にあたってのお願い

- 1 本アンケートには、教室代表者の方または教室の運営に関わる方にご回答ください。
- 2 ご回答は、当てはまる番号を○で一つ、または複数囲む形式で行っていただきます。一部、枠内にご記入いただく形式もあります。指示に従ってご回答ください。また、回答は、本用紙に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒にてご返送ください。
- 3 実施状況等をご回答いただく際は、平成25年度の状況でご回答ください。
- 4 ご回答は、平成26年3月7日(金)までをお願いいたします。
- 5 調査内容でご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

■お問合せ先

長野県観光部国際課多文化共生係
課長 白鳥博昭 担当 美谷島晶子
電 話 026-235-7165 (直通)
F A X 026-232-1644
Eメール kokusai@pref.nagano.lg.jp

I 教室の運営について

【問1】あなたの教室の設立の背景、きっかけは何ですか。

- (1) 自治体等の日本語ボランティア養成講座を受けたメンバーを中心に自主グループを作った。
- (2) 日本語ボランティアに関心のある有志を募った。
- (3) NPO 法人、国際交流協会主催の事業である。
- (4) その他（具体的に： _____)

【問2】あなたの教室は、次のどのような「場」になっていますか。（複数回答可）

- (1) 日本語習得の場
- (2) 生活情報提供・相談の場
- (3) 学習者同士の交流・情報交換の場
- (4) 日本人と外国人住民の交流・相互理解の場
- (5) 地域社会に参画するきっかけを提供する場
- (6) その他（具体的に： _____)

【問3-1】あなたの教室では、運営上に必要なことを話し合う機会がありますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

【問3-2】問3-1で「はい」と答えた教室にお尋ねします。どのようなことについて話し合っていますか。（複数回答可）

- (1) 運営方針・活動目的
- (2) 日本語学習支援ボランティアによる日本語教授法
- (3) 学習者の日本語学習に関する情報交換
- (4) 学習者の生活支援に関する情報交換
- (5) 課外活動・イベント
- (6) 予算の決定
- (7) 広報・PR 等
- (8) 日本語学習支援ボランティアの養成・受入れ
- (9) 学習者の受入れ
- (10) 他機関との連携
- (11) その他

**【問4】あなたの教室の日本語学習支援ボランティアは、教授法について何を参考にして
いますか。(複数回答可)**

- (1) 日本語教師養成講座(420時間)を受講した経験があり、講座で得た知識を参考にしている。
- (2) (1)以外の講座や研修を受講した経験があり、そこで得た知識を参考にしている。
- (3) 市販の教え方の手引き等を参考にしている。
- (4) 指導年数が長いボランティアのやり方を参考にしている。
- (5) その他(具体的に: _____)

**【問5-1】あなたの教室の日本語学習支援ボランティアは、日本語学習のやり方について、
スキルアップのための研修を受ける機会がありますか。**

- (1) はい
- (2) いいえ

**【問5-2】問5-1で「はい」と答えた教室にお聞きします。どのような機会がありますか。
(複数回答可)**

- (1) 他機関が実施する研修に、ボランティアが自主的に参加している。
- (2) あなたの教室(または団体)が独自に行う研修を受けている。
- (3) 他機関が実施する研修に、あなたの教室から派遣している。
- (4) その他

**【問5-3】問5-1で「はい」と答えた教室にお聞きします。研修の内容は何ですか。(複数
回答可)**

- (1) 日本語教授法
- (2) 日本語学習支援ボランティアの役割や支援にあたっての心構えなど
- (3) 異文化理解
- (4) 外国人の生活相談に対応するための制度や法律についての知識
- (5) その他

【問6-1】今後、ボランティアの資質向上のため、研修の機会が必要だと思いますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

**【問6-2】問5-1で「はい」と答えた教室にお聞きします。どのような内容の研修が
必要だと思いますか。**

- (1) 日本語教授法

- (2) 日本語学習支援ボランティアの役割や支援にあたっての心構えなど
- (3) 異文化理解
- (4) 外国人の生活相談に対応するための制度や法律についての知識
- (5) その他

II 他機関等との連携について

【問7-1】あなたの教室（団体）では、これまで他の機関・団体との連携を行ったことがありますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

【問7-2】問6-1で「はい」と答えた教室にお聞きします。次の中から連携先を選び、時期と具体的な内容をご記入ください。

- a 日本語学校、他のボランティア日本語教室
- b 国際交流協会（県・市町村）
- c 社会福祉協議会（県・市町村）
- d 国及び関連団体（文部科学省、文化庁、自治体国際化協会等）
- e 地方自治体及び関連団体（県・市町村）
- f 教育委員会（県・市町村）
- g 日本語教育関連団体（国際交流基金、AJALT等）
- h 企業
- I その他

連携先	時期	内容
(例) e	平成25年4月	市報に生徒募集の記事を掲載。

【問 8-1】 今後、他の機関・団体等との連携を希望しますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

【問 8-2】 問 8-1 で「はい」と答えた方にお尋ねします。どのような機関・団体と、どのような連携が望ましいと思いますか。次の中から選び、内容をご記入ください。

- a 日本語学校、他のボランティア日本語教室
- b 国際交流協会（県・市町村）
- c 社会福祉協議会（県・市町村）
- d 国及び関連団体（文部科学省、文化庁、自治体国際化協会等）
- e 地方自治体及び関連団体（県・市町村）
- f 教育委員会（県・市町村）
- g 日本語教育関連団体（国際交流基金、AJALT 等）
- h 企業
- I その他

連携希望先	内容
(例) a	(例) 他教室の活動内容を知りたい。

【問 9-1】 他の機関・団体等から、日本語学習に関する依頼を受けたことがありますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

【問9-2】問9-1で「はい」と答えた方にお尋ねします。どこから、どのような依頼を受けたことがありますか。次の中から、それぞれ選んでお答えください。

依頼元

- a 日本語学校、他のボランティア日本語教室
- b 国際交流協会（県・市町村）
- c 社会福祉協議会（県・市町村）
- d 国及び関連団体（文部科学省、文化庁、自治体国際化協会等）
- e 地方自治体及び関連団体（県・市町村）
- f 教育委員会（県・市町村）
- g 日本語教育関連団体（国際交流基金、AJALT 等）
- h 企業
- I その他

内容

- ① 日本語学習ボランティアを派遣してほしい。
- ② 教授法の講師を紹介してほしい。
- ③ 教室へ学習者を受入れてほしい。
- ④ その他（※内容もご記入ください）

依頼元	内容
(例) f	①

【問10-1】自治体や企業から依頼があった場合に、日本語学習支援ボランティアの派遣は可能ですか。

- (1) はい
- (2) いいえ

【問10-2】問10-1で「はい」と答えた方にお尋ねします。派遣する場合は、どのような条件が必要でしょうか。自由にご記入ください。

【問11】あなたの教室（団体）で、現在課題と感じていることは何ですか。次の中から、課題と感じられることを選び、具体的な内容を記入してください。（複数回答可）

- a 人材の確保
- b 学習者の継続性
- c 教室が提供している学習内容と、学習者のニーズが合わない
- d 学習者が必要とする生活相談・支援に応じきれない
- e 実施場所の確保
- f 活動資金の不足
- g 情報や研修の機会の不足
- h その他

課題	具体的な内容
(例) a	(例) 若年層のボランティアの確保が難しい。

以上で終了となります。ご協力ありがとうございました。